

平成29年第1回定例会（2月議会）
産業観光分科会・委員会 提出資料

平成29年2月22日
観光文化スポーツ部

【当初予算関連】

交通政策課	秋田内陸縦貫鉄道の経営状況について	・・・	1
	由利高原鉄道の経営状況について	・・・	2
	北秋田市小湊地区の斜面崩落に伴う秋田内陸線の 一部運休について	・・・	3

秋田内陸縦貫鉄道の経営状況について

交通政策課

1 第三四半期までの輸送状況

(1) 輸送人員の状況（4月～12月比較）

（単位：人）

区 分	27年度	28年度	増減	備考
定 期	126,383	117,559	△ 8,824	前年比 93.0%
定 期 外	120,427	105,598	△ 14,829	〃 87.7%
合 計	246,810	223,157	△ 23,653	〃 90.4%

(2) 鉄道収入の状況（4月～12月比較）

（単位：千円）

区 分	27年度	28年度	増減	備考
定 期	31,974	29,806	△ 2,168	前年比 93.2%
定 期 外※	84,465	73,133	△ 11,332	〃 86.6%
合 計	116,439	102,939	△ 13,500	〃 88.4%

※運輸雑収入を含む。

2 平成28年度決算見込み

鉄道収入の減少や除雪費の増加等により、経常損失額は前年度を上回る見込み。

（単位：百万円）

区 分		27年度	28年度	増減	備考
収 入	鉄 道 収 入	141	127	△ 14	
	定 期	38	36	△ 2	
	定 期 外 ※	103	91	△ 12	沿線利用等の減
	関 連 事 業 収 入	54	48	△ 6	旅行業・車内販売等の減
	受 託 事 業 収 入	9	15	6	観光アテンダント事業の増
	営 業 外 収 入	94	96	2	
	収 入 合 計 ①	298	286	△ 12	
費 用	人 件 費	214	211	△ 3	
	除 雪 費	9	18	9	降雪の増加に伴う増
	修 繕 費	119	120	1	
	動 力 費	27	24	△ 3	軽油単価実績による減
	関 連 事 業 原 価	30	28	△ 2	
	受 託 事 業 費	7	15	8	観光アテンダント事業の増
	そ の 他 経 費 等	70	69	△ 1	
	費 用 合 計 ②	476	485	9	
経常損益 ①－②	△ 178	△ 199	△ 21		

※運輸雑収入を含む。

由利高原鉄道の経営状況について

交通政策課

1 第三四半期までの輸送状況

(1) 輸送人員の状況（4月～12月比較）

(単位：人)

区 分	27年度	28年度	増減	備考
定 期	123,476	120,996	△ 2,480	前年比 98.0%
定 期 外	51,713	51,804	91	〃 100.2%
合 計	175,189	172,800	△ 2,389	〃 98.6%

(2) 鉄道収入の状況（4月～12月比較）

(単位：千円)

区 分	27年度	28年度	増減	備考
定 期	22,460	22,346	△ 114	前年比 99.5%
定 期 外※	21,121	24,533	3,412	〃 116.2%
合 計	43,581	46,879	3,298	〃 107.6%

※運輸雑収入を含む。

2 平成28年度決算見込み

営業外収入の減少や修繕費の増加等により、経常損失額は前年度を上回る見込み。

(単位：百万円)

区 分		27年度	28年度	増減	備考
収 入	鉄 道 収 入	54	56	2	
	定 期	27	26	△ 1	
	定 期 外 ※	27	30	3	団体利用の増
	関 連 事 業 収 入	22	22	0	
	受 託 事 業 収 入	22	6	△ 16	国の消費喚起事業の減
	営 業 外 収 入	6	4	△ 2	エボルタ線路使用料の減
	収 入 合 計 ①	104	88	△ 16	
費 用	人 件 費	99	96	△ 3	
	除 雪 費	3	2	△ 1	
	修 繕 費	6	10	4	車両修繕費の増
	動 力 費	9	7	△ 2	軽油単価実績による減
	関 連 事 業 原 価	13	14	1	
	受 託 事 業 費	21	6	△ 15	国の消費喚起事業の減
	そ の 他 経 費 等	38	40	2	
	費 用 合 計 ②	189	175	△ 14	
経常損益 ①－②	△ 85	△ 87	△ 2		

※運輸雑収入を含む。

北秋田市小湊地区の斜面崩落に伴う秋田内陸線の一部運休について

交通政策課

秋田内陸線小湊駅から0.9km阿仁合駅方向の地点で、秋田内陸線の路盤と阿仁川河岸上部間の斜面に崩落があり、路盤脇に亀裂が認められたことから、秋田内陸線では、阿仁合駅～阿仁前田駅間の運行を中止するとともに、列車を一部運休するなどダイヤを変更して運行している。

1 経緯

- ・ 2月17日（金）
 - 16：30 北秋田地域振興局建設部から秋田内陸線へ斜面崩落の連絡
 - 16：40 秋田内陸線等による現場確認
 - 17：10 阿仁合駅～鷹巣駅間の列車の運休を決定
翌日以降のダイヤの変更を決定
 - 18：30 秋田内陸線会社内に社長を本部長とする災害対策本部を設置
- ・ 2月18日（土）
 - 12：00 路盤及び路盤脇の亀裂の変動を把握するため、伸縮計を2基設置し、観測を開始
 - 17：00 路盤脇亀裂部の伸縮計に変動を確認
- ・ 2月19日（日）
 - 終日 観測を継続、亀裂部に1時間に1mm程度の変動を確認
 - 17：00 調査会社より、今回の融雪と降雨が加わったことによる崩落との報告

2 被害の状況

崩落範囲は、延長が23.5m、路盤から河川側への高さが5m～7mとなっており、18日に観測を開始した路盤脇の亀裂は、現在も少しずつ拡大している。

3 現在の運行状況

阿仁合駅～阿仁前田駅間は、代替輸送(バス、ジャンボタクシー)で対応し、阿仁前田駅～鷹巣駅間は、車両1両により臨時ダイヤで運行(間引き運行)している。

4 今後の対応

- (1) 斜面の復旧対策は県で実施する予定であり、早期復旧に向け、工法や復旧時期などについて検討を進めている。
- (2) 運行の再開については、安全運行が最優先であることから、斜面の復旧工事が終了し安全が十分に確保された後となる。
- (3) 現在の臨時ダイヤについて、沿線の利用者から早朝便の復活の要望も寄せられており、秋田内陸線においては、可能な限り利便性が確保できるよう関係機関と協議を進めている。